

自分の実力を知ることができた15日間

平成22年度インターンシップ支援事業報告

財団法人大阪デザインセンターは、平成22年7月20日(火)～9月30日(木)の日程で「デザイン学生のためのインターンシップ支援事業」を実施いたしました。

このインターンシップ支援事業は、デザイン人材の育成のため、将来デザイナーを志望する学生に就業体験を通して、デザイナーとしての知識や技術の習得はもちろん、社会人としての職業観の醸成を目的としています。同事業は平成14年度から数えて今回が9回目となり、平成19年度からは規模の拡大と内容の充実を図り、財団法人JKAの補助事業として実施しています。

今回のインターンシップ支援事業には、デザイン系の学科を有する大学や短大、専門学校に広く参加を呼びかけ、過去最多の104名の応募があり、志望動機や夏休み期間との調整をもとに、慎重な選考を経て20名を選出し、受け入れ事務所である大阪デザイン振興プラザ・デザイン工房会と当センター賛助会員事務所の協力により、熱心な

インターン実習が行われました。期間中は、デザイン事務所のアシスタントとして制作作業のほか、クライアントの打ち合わせや現場の最前線に向かうケースも多く見られました。

この研修の最大の特長は、実践的な知識や技術の習得のみならず「生の現場」といった学校では経験することができない社会を肌で感じることができる点にあります。近い将来デザイン業界への就職を希望する学生にとって「やりたいこと」の発見と確認により、自分に合った進路選択が確実にできるなど、毎年デザイン教育の現場からも高い評価を得ています。

15日間の実習期間を通じて、研修生同士のコミュニケーションも深めることができ、名残惜しく受け入れ事務所を去っていく研修生の姿も少なくありませんでした。それぞれの事務所で得た貴重な経験は、きっと社会で役立つことでしょう。



インターンシップ研修生インタビュー

※一部の研修生および受け入れ事務所にのみ実施いたしました。

何事にも恐れぬ精神で

京都精華大学 プロダクトデザイン学科 三好 宏実

- 1 パッケージを含めたプロダクト全般を行っている事務所と聞き、将来志望している分野に近かったからです。
- 2 ニーズに合ったデザインでない店頭並ぶ商品にはならないことを実感しました。
- 3 整髪料のパッケージデザインを考えたり、パッケージに関する印刷技術を指導していただきました。
- 4 モノの見方が変わったことです。見た目だけで判断していません。それが今では、商品の質感や印刷技術などにも興味を持てるようになってきました。
- 5 自分の知らない世界に飛び込んでいく積極性が必要だと思います。そうすることで違ったものが見えてきて、きっと自分の糧になると思います。



南白井デザイン事務所 談

商品化のための過程で何を優先させるかを考えることは非常に大切です。モノづくりには物事を追求していく姿勢が必要で、そのことを研究中に体験するのは大変だと思いますが、それを乗り越えれば一人前になれると思います。

自己満足から「人に見られるデザイン」へ

大手前大学 マンガ・アニメーション系 松浦 智子

- 1 パッケージデザインがやりたいと思ったからです。また、女性スタッフが多いところを希望していたからです。
- 2 最初は不安でいっぱいでしたが、実習期間が経つにつれて、事務所の雰囲気に慣れ、落ちついて仕事に取り組むことができました。
- 3 しょうゆに使われるラベルのパッケージデザインに携わらせていただきました。
- 4 今までは自己満足で作品づくりをやっていたような気がします。しかし、仕事は「人に見られるデザイン」ということを意識しないといけないと痛感しました。
- 5 パッケージや色々な絵や作品を見て、感性を広げてほしいと思います。そして、インターンシップのような有益な制度



デザインオフィス リバティ 談

仕事をするということは、まず第一にお客様に喜んでもらうことが大切です。これから仕事をしていくうえで、色々なことを学んでいってほしいと願っています。

挑戦する気持ちが必要

大阪芸術大学 プロダクトデザインコース 石崎 友寛

- 1 モノづくりにおける実際の「現場」を見てみたかったからです。そして、学校では学べないことを自分の目で体験してみたかったからです。
- 2 世の中に出るということは、自分の行動や発言などに責任を持たなければならないことだと、改めて実感しました。
- 3 設計から3Dまで、工業デザインに必要なことを一通り学びました。また、自転車の工場にも見学し、フレームのつくり方などの勉強になりました。
- 4 もっともっと挑戦する姿勢が必要だと実感しました。コミュニケーション能力の大切さも知り、さらに必要性を感じました。
- 5 行動しないと何も始まらないので、積



S&R FACTORY 談

無駄と思っても無駄と思わず、色々な経験や体験を通して、知識や情報の使い方も育っていくと思います。色々なことを吸収していってほしいと思います。

- 1 インターンシップへの参加動機は?
- 2 インターンシップ参加前と実際のギャップは?
- 3 具体的な研修内容は?
- 4 研修をやり終えて変わったことは?
- 5 今後インターンシップに参加したい後輩にひとこと



強みを自分のものに

大阪デザイナー専門学校 プロダクトデザイン学科 森元 善之

- 1 以前から個人事務所とはどういう感じなのか知りたく、インターンシップを通して体験してみたいと思ったからです。
- 2 就職に対して社会の厳しさや自分の考えが甘かったということをお話や仕事を通して痛感させられました。

- 3 3D-CADというソフトを覚えることが自分の目標だったので、エココンへの企画やデザインに携わらせていただきました。
- 4 自分の特長や強みをみつけ、身につけることができたことを、お話を通して痛感させられました。
- 5 純粋に参加してみたいです。きっと自分の力になると思います。



ケイフォルム 談

自分の方向性をしっかり立てることで、将来のことでも自分の考えをある程度決めて目標を明確に持つ。それが、叶ったときの達成感、すごく大きいと思いますから。

レベルのすごさに圧倒

大阪工業大学 空間デザイン学科 白岩 誠輝

- 1 設計事務所はどういう仕事をしているのかを体験して、将来のことについて改めて考えたいと思ったからです。
- 2 設計の仕事は、環境や福祉などの知識も必要だと感じました。また、著名な建築の先生方の作品を見て、そのすごさに圧倒されました。
- 3 模型製作や展示会の準備の手伝いのほか、「自然環境と福祉」をテーマにレポートも作成しました。
- 4 環境と福祉は建築の分野においても密接な関係にあることが改めてわかりました。また、自分の考えを相手に正確に情報を伝える大切さも学びました。自分の考えを見直したり、確認する面でもとてもいい経験になると思うので、ぜひ参加していただきたいです。



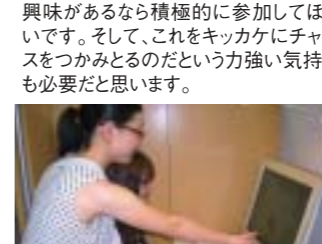
atelier T-CUBE 談

自分の想いを伝える方法にはさまざまな方法があると思いますが、それが相手にきちんと伝わらないと何の意味もありません。どの分野であってもコミュニケーションは大切なので、忘れずに頑張ってください。

責任感を持つことが大切

大阪市立デザイン教育研究所 デザイン学科 国本 麻樹

- 1 専門的なことを専門的なところに行って学びたいと思ったからです。また、ウェブの力を身につけたいと思ったからです。
- 2 ウェブの仕事は入力作業が中心だと思っていました。しかし実際はイラストレーターやフォトショップなどのソフトを使って、画像加工などの必要性も学びました。
- 3 洋菓子店のホームページに関するイラストを描いたり、通販サイトの商品の紹介ページを作成したり、と短期間で色々なことをやらせていただきました。
- 4 仕事をするということは何事にも責任感を持ってやらないといけないと思います。研修中は人と交流でき、情報交換もできていい刺激をもらいました。
- 5 すごくいい経験になるので、少しでも



キューベリー(株) 談

無駄なことでも経験していっぱい引き出しを作っていくのはいいです。デザインのことだけでなく色々なことに興味を持って取り組んでいって、自分のものにしてほしいと思います。

実習生氏名(学校名)	受け入れ事務所名
谷 幸祐 (神戸芸術工科大学)	アイディアルデザイン
白岩 誠輝 (大阪工業大学)	atelier T-CUBE
古角 仁美 (大阪芸術大学)	adoria company
徳井 昌子 (尾道大学)	イメージプランニング
安藤 詩織 (大阪芸術大学)	(有)インターデザイン研究所
石崎 友寛 (大阪芸術大学)	S&R FACTORY
古川 倫行 (神戸芸術工科大学)	オーディンデザイン(株)
田中 安理沙 (清風情報工科学院)	オフィスアイ
中村 唯 (大阪芸術大学短期大学部)	北田正憲デザイン事務所
国本 麻樹 (大阪市立デザイン教育研究所)	キューベリー(株)
森元 善之 (大阪デザイナー専門学校)	ケイフォルム
三好 宏実 (京都精華大学)	(有)白井デザイン研究所
増田 充泰 (大阪総合デザイン専門学校)	(株)ジーフロー
塩土 舞 (大阪工業大学)	(有)スタジオオオブ
中平 亜希子 (大手前大学)	(株)タチバナデザイン
杉若 國太郎 (京都精華大学)	(株)ダンブレイン
清水 亮人 (大手前大学)	(株)ディ・フラット
松浦 智子 (大手前大学)	デザインオフィスリバティ
岡野 和生 (中央工学校OSAKA)	平井憲一建築事務所
吉田 有輝 (中央工学校OSAKA)	(株)ピクデザイン事務所

◎取材・撮影：田中 安理沙(清風情報工科学院 デザイン専攻) [受け入れ事務所：オフィスアイ]

この事業は、競輪の補助金を受けて実施したものです。
<http://ringring-keirin.jp>